



BATTAN
BATTAN



BATTAN
BATTAN

テキスタイル・アルチザン、「BATTAN BATTAN」。

ARTISAN (アルチザン) = 職人的芸術。有名ファッションブランドであればあるほど、極められたデザインを実現するためのものづくり工程には、極められた職人技術が求められます。BATTAN BATTANは、受け継いだ希少な伝統を現代に融合させながら、それぞれが持つ職人技術で最高の素材を活かそうと試みる職人ユニット。各商品に込められた技術の輝きをぜひ感じて頂きたいです。

澤田真介 / 株式会社織工房風美舎

〒910-0122 福井県福井市石盛町27-3 TEL.0776-56-2382 info@fubisya.com <http://www.fubisya.com/>

山下祐三 / 株式会社山崎ビロード

〒915-0253 福井県越前市中津山町9-29 TEL.0778-43-1333 yamashita@yamazaki-velvet.com <https://yamazaki-velvet.com/>

東野晃典 / 株式会社東野東吉織物

〒911-0804 福井県勝山市元町2-9-21 TEL.0779-88-0317 higashino@violin.ocn.ne.jp <http://higashino-tokichi.com/>

ストール / シルク × カシミア

極まったものづくりは、極まったモノになる。

古より継承される織り職人の技術は、普段、デザインを支えるプロセスでありながら、時にそのまま最終商品ともなり得ます。今回は「ストール」というかたちで世に表しました。統一テーマは「気品と調和」。自然界最高のシルクとカシミアが素材です。

SHINSUKE SAWADA

プロフィール | 澤田真介

2007年、株式会社織工房風美舎入社。2018年、代表取締役就任。2019年、BATTAN BATTAN設立。2018年「JAPAN TEXTILE CONTEST 2018」優秀賞受賞。／独自のカラミ織技術を保有し法衣用紗織物・絹織物の製造販売を行う。また日本で唯一和紙漉き用絹紗を手掛け和紙文化の保全をサポートしている。MILANO UNICA (イタリア)へ出展し海外のハイブランドへ販路を展開。



シルクとカシミアが織りなす、最上の心地良さ。
目指したのは、未だこの世にないベルベットストール。

本物の素材にこだわったベルベット生地を用いて新しい表現を追求する中で、昨今は、有名高級ブランドのファッションデザイナーの方に直接協力させて頂くことが、仕事の多くを占めるようになってきました。驚くようなリクエストに応えたり、また、ユニークな生地や加工の提案を私から行ったりなど、商品と一緒に作り上げていくプロセスでは、多様な発想が生まれます。今回のストールの生地アイデアは、そういった経験をもとに“最高級の素材を使い、質感や肌触りなどベルベットの良さを最大限に引き出した、未だこの世にないストール”を目指して手掛けました。

弊社におけるベルベットの織り工程は、「二重ビロード」と称されます。簡単に言うと、「グラウンド」と呼ばれる織物組織2枚の間を、最終的に起毛部分となる「パイル」と呼ばれる糸でループ状

につなぎ、2枚の間をカットすることで、同時に2枚の生地をつくりあげる流れです。今回のストールづくりでは、「グラウンド」の経糸にコットンを、緯糸には温もりのあるカシミアを採用。「パイル」には光沢があり、肌触りも良いことからシルクを用いました。薄さと軽さ、風合いを追求したかったので、両糸ともに可能な限り細い糸を贅沢に選択しました。特にヤギの毛が原料であるカシミアは、細ければ細いほど希少価値があります。

「パイル」にシルクを使うことで障壁もありました。自然素材であるシルクには微細な節や太さのムラがあり、織る際に生じる引っかかりの解消や、繊細なカット作業が求められます。何度も検証を繰り返してできあがった、類を見ない商品を是非身に付けて堪能してほしいと思います。

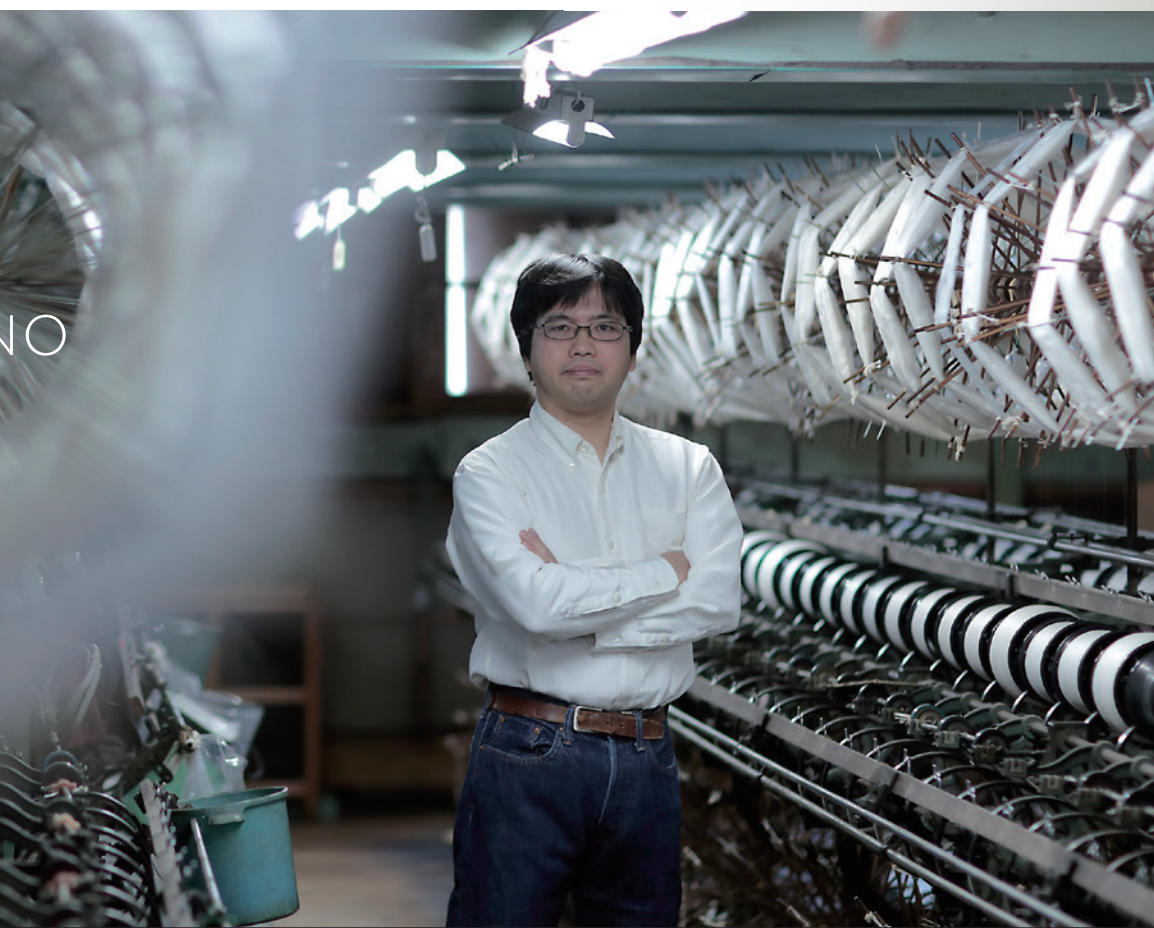


商品名: COMFORT VELVET
サイズ: w500mm×h1800mm
素材: カシミア45%、シルク40%、コットン15%

AKINORI HIGASHINO

プロフィール | 東野晃典

2001年、株式会社東野東吉織物入社。2008年、代表取締役就任。2019年、BATTAN BATTAN設立。2009年、東野東吉織物は経済産業省が近代化の過程を継承する存在としてまとめる「近代化産業遺産」に認定／福井伝統の織り製法「ぬれよこ羽二重」による製造販売を主軸に展開。



カシミアを「カラミ織り」で麗しく爽やかに。
世界最高品質の素材を、繊細な技術で活かす。

開発テーマは“気品と調和”です。気品とは何処となく感じられる上品さ。そして、今まで研鑽してきた技術によって磨かれた品質・伝統であると考えます。法衣・和紙を陰から支える「カラミ織り」技術を駆使し、ストールとして羽織るまたは巻く時のウエイトのバランスや使用する素材の吟味、カシミアとシルクの混率を考慮。伝統和装と最新ファッションの調和を図りました。

「カラミ織り」は、経糸を2本ずつ撚りながら撚った間に緯糸を通す織布方法で、出来上がった製品は、軽量でさりとした手触りがあり、通気性が良く、何枚も重ね着をする法衣や夏用和装に用いられています。この技法で、今回、冬素材であるカシミアを爽やかな風合いに仕上げています。経糸にシルクを、緯糸にはシルクとカシミアを交互に使用。「カラミ織り」の特徴である

透け感とシャリ感を残しつつ、カシミアの魅力である柔らかさと繊細な起毛感が際立つように努めました。また、緯糸を経糸で絡ませているため組織が崩れにくく美しい状態をキープします。

シルクには、ブラジル産の生糸を。カシミアには中国内モンゴル(内モンゴル)自治区産を採用しています。それぞれ世界最高級の品質を誇る素材です。

通常、織布用にはニットよりも太めの糸を使用するところを、グレードの高いニット用の極細の糸を使っています。「カラミ織り」は、緯糸にテンションが掛かり切れやすくなるため、卓越した技術と繊細な作業が求められます。染色は京都の西陣、風合い加工は一宮、縫製は横浜。それぞれ日本最高の技術を持つ職人の手によって仕上げています。



商品名: Refreshing Ieno
サイズ: w1080mm×h2040mm
素材: カシミア35%、シルク65%

YUZO YAMASHITA

プロフィール | 山下祐三

1988年、株式会社山崎ビロード入社。2017年、代表取締役就任。2019年、BATTAN BATTAN設立。受賞歴として、2010年「JAPAN TEXTILE CONTEST 2010」準グランプリ受賞他。／MILANO UNICA (イタリア)へ出展し海外のハイブランドへ販路を展開。MOMA (ニューヨーク近代美術館)に永久保存された弊社作品あり。



至高の艶やかさと肌触りで“幸せな気持ち”になれる時間を。
福井の風土の賜「ぬれよこ羽二重」で完成させる。

商品から感じてほしいのは、シルクの滑らかさと光沢、カシミアの柔らかさと温もり、そして、その全てが調和した魅力です。生地そのものの良さを至上の肌触りとして届け、身に付ける人に幸せな気持ちになってもらいたいという強い想いがありました。

用いているのは「ぬれよこ羽二重(はぶたえ)」という織り技術です。かつては、シルクで欧米向けの輸出用生地を。現在では主に和服の胴裏用の生地を製造しています。羽二重とは、通常の平織(ひらおり)が、経糸と緯糸を1本ずつ直角に交わらせるところ、細めの経糸2本を撚らずに並べて織る製法で、「絹の良さは羽二重に始まり羽二重に終わる」と言われています。「ぬれよこ」とは緯糸を水で濡らして織っていく製法で、布地が引き締まり、こしがあって丈夫になります。水が豊富で一年を通して

湿度が高い福井の風土を活かした伝統の製法です。また撚りのない生糸を使うため、引っかかりのない滑らかな肌触りと艶やかさ、自然素材の賜と呼べる風合いが商品に活かされます。

今回のストールでは、経糸にシルク、緯糸にシルクとカシミアの合わせ糸を使用しました。カシミアを合わせることで、柔らかさや温もりの向上を目指しました。「ぬれよこ」製法により、水が糸同士を繋ぎ合わせ、お互いの長所をバランスよく引き出しています。その結果、滑らかで柔らかい肌触り、艶やかで温もりのある光沢、薄さと丈夫さを兼ね揃えた生地に仕上げることができました。さらに、染色には、植物など天然素材の色素を用いた「草木染め」を採用しています。自然素材ならではの見た目のやさしさや、世界に一枚しかない膨らみのある色合いを楽しんでもらいたいです。



商品名: 和しるく・幸
サイズ: w860mm×h1800mm
素材: カシミア55%、シルク45%